

拠点名称：こころとカラダのライフデザイン共創拠点

代表機関	北海道大学	プロジェクトリーダー	玉腰暁子 北海道大学 大学院医学研究院 教授
幹事自治体	岩見沢市	幹事機関	国立成育医療研究センター 北海道、株式会社日立製作所
参画機関	札幌市立大学、小樽商科大学、北里大学、医薬基盤・健康・栄養研究所、政策研究大学院大学、北海道教育大学、埼玉医科大学、順天堂大学、大同大学、聖路加国際大学、横浜市立大学、琉球大学、武蔵野美術大学、天使大学、株式会社セコマ、株式会社ツルハホールディングス、公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター、住友生命保険相互会社、東日本電信電話株式会社、プラチナ構想ネットワーク、ミュージックセキュリティーズ株式会社、森永乳業株式会社、NPO法人妊婦のくらし、SUNDRED株式会社、株式会社資生堂、株式会社マクニカ、株式会社TENGA、株式会社ラフル、札幌市、小樽市、苫小牧市		

プロジェクトの概要

自分のこころとカラダを理解できるしくみをつくる。若者が、自分の選択肢を増やしていくことができ、他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会を実現する。

自分らしく生き、望めば望んだ時に産み、安心して育てられるまち、人が育ち、途切れない学びがある。住みたくなる、行ってみたくなるまちには、新しいひとの流れができる。

誰もが活躍できる地域社会を、岩見沢市とともにめざし、少子化を克服していく。

同世代の学生と一緒に歩む“若者コホート”をデジタル空間に構築し、若者のこころとカラダを繋げる。こころ・意識の変化、体の変化を、自分で気づく、自分も知る。生体試料は、自分と未来の若者の健康指標となる。日本で初めて包括的なプレコンセプションケアを小児期から開始し、ヘルスケアリテラシーの向上と社会の不平等をなくしていく。医療、学校、地域、企業が一体となった岩見沢モデルを構築し、他地域へと広げる。

岩見沢市に、未来人材育成拠点（北海道大学サテライト）を新設し、地域フィールドを核とした新しい産学地域連携を進め、持続的に地域課題の解決、新しい地域産業創出をめざす。

### 「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」

「他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現  
～こころとカラダの理解を通して、生きるための選択肢を増やす～

3  
子育てに  
関係する

4  
子育てに  
関係する

5  
子育てに  
関係する

11  
子育てに  
関係する

#### 誰もが活躍できる地域社会の実現

結婚・出産・子育ての  
希望が叶い、誰もが  
活躍できる地域社会

安心して暮らせる地域  
新しい時代の流れを  
力にする

経済を支える  
人材を育て活かす  
安定した雇用の創出

新しい  
ひとの流れを  
つくる

#### 笑顔のひろがり

「こころ」と「カラダ」の  
ライフデザイン

未来人材育成拠点  
次世代育成プラットフォーム  
情報の集約と分析  
3rd Place  
多世代交流、学びあい  
「若者」への信頼  
若者への暖かい眼差し  
若者が考える効果的な施策  
若者に任せる社会  
若い世代からの健康づくり  
（広義のプレコンセプションケア）  
指針作成、介入プログラム開発  
次世代の地域を創る人材

研究拠点として  
・ 若手人材の発掘・育成  
・ 若手ファンドの活用  
・ 異分野の融合  
・ 研究者会議  
・ 他研究機関との連携  
・ 連携強化支援  
・ 地域連携  
・ 課題共有会議

Physical/カラダ  
・ 健康のさし  
・ 腸内環境  
・ 男性妊孕性

Mental/こころ  
・ 哲学対話

若者けんきょ見つけ  
の構築

ライフデザイン  
失敗してもやり直せる社会

ヘルスリテラシーの  
向上

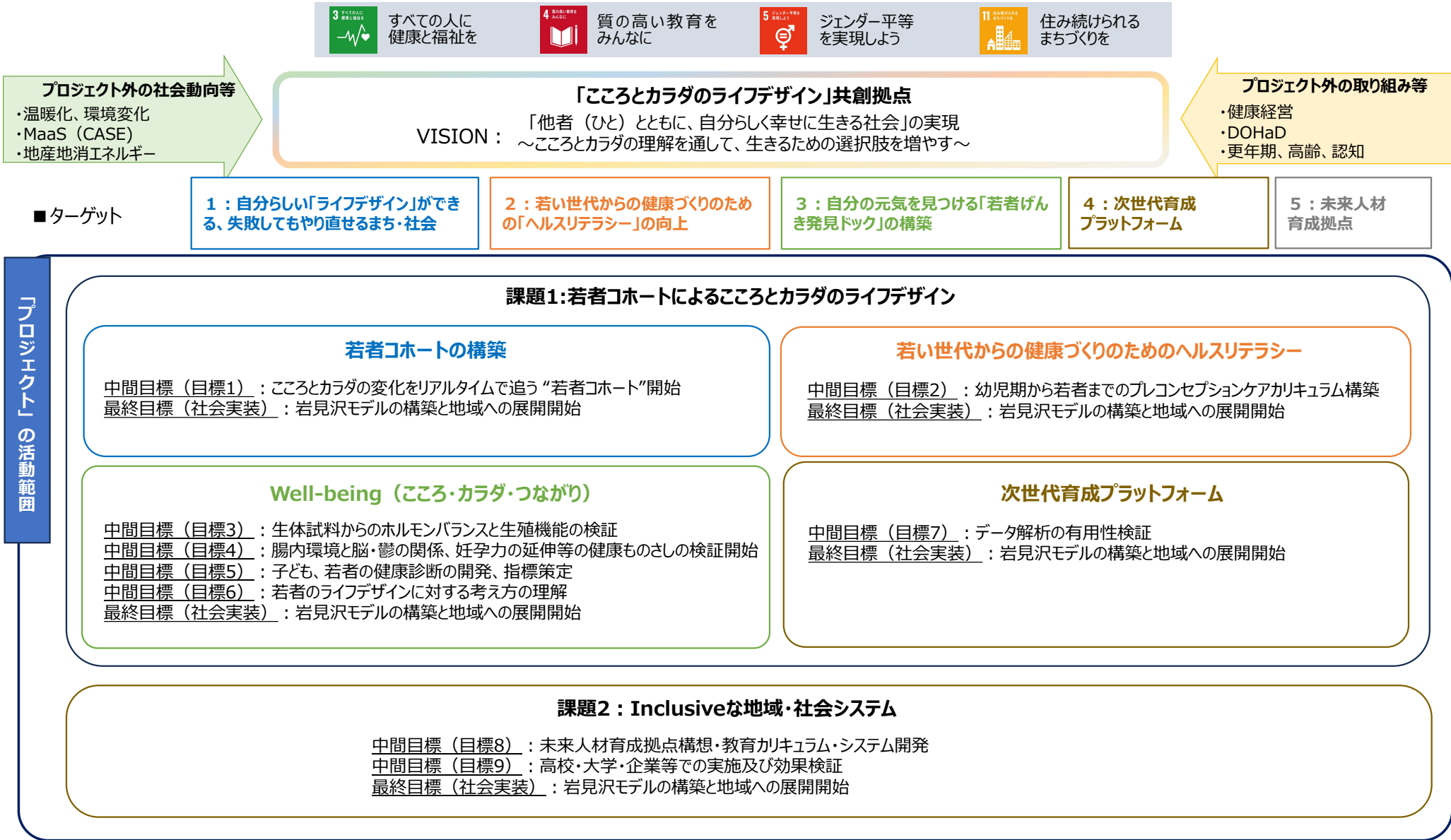
Social/つながり  
・ 利他  
・ 感謝日記

若者コホート

関係人口

交流人口

健康・ライフ  
イベントデータ



拠点名称：こころとカラダのライフデザイン共創拠点  
代表機関：北海道大学  
プロジェクトリーダー：玉腰暁子（大学院医学研究院 教授）

研究開発課題1：若者コホートによるこころとカラダのライフデザイン		
若者コホートの構築		
中間目標（目標1）	2024	こころとカラダの変化をリアルタイムで追う“若者コホート”研究デザイン
最終目標（社会実装）	2030	岩見沢モデルの構築と地域への展開開始
若い世代からの健康づくりのためのヘルスリテラシー		
中間目標（目標2）	2025	幼児期から若者までのプレコンセプションケアカリキュラム構築
最終目標（社会実装）	2030	岩見沢モデルの構築と地域への展開開始
Well-being（こころ・カラダ・つながり）		
中間目標（目標3）	2025	生体試料からのホルモンバランスと生殖機能の検証
中間目標（目標4）	2025	腸内環境と脳・鬱の関係、妊孕力の延伸等の健康ものさしの検証開始
中間目標（目標5）	2025	子ども、若者の健康診断の開発、指標策定
中間目標（目標6）	2025	若者のライフデザインに対する考え方の理解
最終目標（社会実装）	2030	岩見沢モデルの構築と地域への展開開始
次世代育成プラットフォーム		
中間目標（目標7）	2025	データ解析の有用性検証
最終目標（社会実装）	2030	岩見沢モデルの構築と地域への展開開始
研究開発課題2：Inclusiveな地域・社会システム		
中間目標（目標8）	2025	未来人材育成拠点構想・教育カリキュラム・システム開発
中間目標（目標9）	2025	高校・大学・企業等での実施及び効果検証
最終目標（社会実装）	2030	本格稼働、他地域への展開開始

拠点名称：こころとカラダのライフデザイン共創拠点  
代表機関：北海道大学  
プロジェクトリーダー：玉腰暁子（大学院医学研究院 教授）

研究開発課題	研究テーマ	体制(分担)	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
1. 若者コホートによるこころカラダのライフデザイン	若者コホートの構築	北海道大学	“若者コホート”研究デザイン				目標1	“若者コホート”開始				
	若い世代からの健康づくりのためのヘルスリテラシー	北海道大学 国立成育医療研究センター	カリキュラム開発			カリキュラム改善		目標2	岩見沢での実装開始			
	Well-being (こころ・カラダ・つながり)	北海道大学 国立栄養研 森永乳業 北里大学	ホルモンバランスと生殖機能の検証				目標3	生体試料を用いたバイオマーカー検証、新検査法開発				
			健康ものさしの基礎研究、分析				目標4	健康ものさし検証、新バイオティクス開発、介入・実証				
			子ども、若者の健康診断の開発、指標策定				目標5	若者げんき発見ドックの開発、地域・職域での検証				
			若者のライフデザインに対する考え方の理解				目標6	利他行動促進手法の開発				
次世代育成プラットフォーム	北海道大学 日立製作所	データ解析の有用性検証				目標7	データ解析・アプリケーションプロトタイプの開発					
2. Inclusive な地域・社会システム		北海道大学 岩見沢市	拠点構想・教育カリキュラム・システム開発				目標8	高校・大学・企業等での実装、展開				
			高校・大学・企業等での実施及び効果検証				目標9					
			岩見沢モデルを他地域展開									
			・他地域展開・本格稼働									

ライフデザイン

「ヘルスリテラシー」の向上

若者げんき発見ドック

次世代育成DPE

未来人材育成拠点